

数 I 数と式

不等式の性質

- [1] $A < B, B < C$ ならば $A < C$
[2] $A < B$ ならば $A + C < B + C, A - C < B - C$
[3] $A < B, C > 0$ ならば $AC < BC, \frac{A}{C} < \frac{B}{C}$
[4] $A < B, C < 0$ ならば $AC > BC, \frac{A}{C} > \frac{B}{C}$

不等式では、両辺に同じ負の数を掛けたり、両辺を同じ負の数で割ったりすると、不等号の向きが変わる。

5 不等式①

(1) $-5x + 24 > 7x - 12$

(2) $4(x - 2) \leq -3(x + 4)$

(3) $0.2x - 2.4 < -0.6x$

(4) $\frac{5x + 2}{4} \leq 4x + 6$

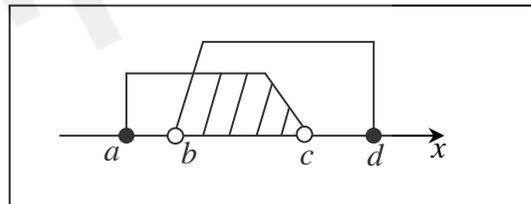
(1) $x < 3$ (2) $x \leq -\frac{4}{7}$ (3) $x < 3$ (4) $x \geq -2$

連立不等式

いくつかの不等式を組み合わせたものを**連立不等式**といい、それらの不等式を同時に満たす x の値の範囲を求めることを、連立不等式を**解く**という。

連立不等式の解法

- [1] それぞれの不等式を解く。
- [2] それらの解の共通範囲を求める。



5 不等式② [連立不等式]

(1)
$$\begin{cases} x+4 < 5 \\ x-2 \geq -8 \end{cases}$$

(2) $2x-4 < 3x+2 < x+6$

(1) $-6 \leq x < 1$ (2) $-6 < x < 2$